

学校図書館支援センター通信 NO.14

11月号

平成20年度 市川市学校図書館支援センター(市川市教育センター)



公共図書館の学校支援!

市川市中央図書館では、「児童・青少年サービス・グループ」を中心に、さまざまな形で学校を支援しています。今回はその一端をご紹介します。

【公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業】

学校や幼稚園から寄せられるレファレンスや貸出依頼に対して、資料を選び提供しています。中央図書館や各図書館所蔵の資料約90万冊の中から選書をしませんが、「学校貸出用専用図書」も7949冊(平成20年3月現在)揃えています。同時期に授業が行われることを考慮して、各学校に均等な提供をすること、公共図書館ならではの蔵書の質と量を生かした資料を提供することを心がけています。
(平成19年度 貸出冊数4573冊、レファレンス依頼数626件)

【学級文庫貸出】

子どもたちの身近な読書環境を整える目的で学校に長期貸出を行っています。希望する学校には、公共図書館で選書した図書が約半年間貸出されます。読み物を中心に低・中・高学年向けのセット(120冊)を組んでいます。
(平成19年度 貸出冊数 32セット、3840冊)

【出張おはなし会】

小学校3・4年を対象に、公共図書館の司書が学校に出向いて、一授業時間内、子どもたちに素ばなしや絵本の読み聞かせ等を行っています。純粋に本の楽しさや本の世界を手渡したいと思っています。
(平成19年度 6校 10回 約690人)



【ブックリストの作成・配付】

子どもの発達段階に応じたブックリストを作成し、配付しています。
・「本のぼけっと」(小学生用)
・「新一年生の保護者の方へ」(新入生保護者用)
・「Young Adult 通信」(中高生用)
平成20年4月、「本のぼけっと1~20号(累積版)」のカラー版を各学校に配付しました。ぜひ、ご活用ください。

【教職員体験研修】

夏休みの2~3日間、教員が公共図書館の仕事体験する研修です。本の貸出・返却などのカウンター業務や資料の配架、視聴覚資料の修理など様々な仕事を体験し、公共図書館への理解を深めていただいています。
(平成19年度 参加教員数 8名)
児童生徒の職場体験学習も実施しています。

公共図書館からのメッセージ!!

公共図書館にとって、実際に利用する子どもの顔が見えない状態で資料を選定して学校へ送るといのは、心細くて勇気のいる仕事です。そんな作業を日々平然と(?)こなしていけるのは、学校図書館に自分たちと同じ土俵に立っている学校司書や学校図書館員の先生方がいるから。その先生方の目を通して子どもたちに資料が渡るからこそできるアラワザ!!なのです。

なかなかきめ細かいバックアップができず申し訳なく思っていますが、縁の下の力持ちとなれるよう、これからもがんばります。公共にいらしたらぜひ気軽に声をかけてください。一言でも会話ができればいいな~、少しでも情報交換できるスキはないものかと、実はいつも狙っています。
(市川市中央図書館 司書 石井嘉奈子)

【市川市中央図書館 TEL 320-3346 FAX 320-3351】



読書の町市川とともに歩いて・参



2校目は、鬼高小学校だった。
まず、図書館部会で話し合い、またまた調べ学習室をつくった。そして、畳も入れた。その時、コンピュータが1台入り、どうしても本でわからないことでも、コンピュータで調べられるんだという画期的なことが起こり、先生方と喜んだ。じゃあ、ぜひ、その後の22台は、調べ学習室の隣に置こうということになった。これで、第1、第2、第3の3つの図書館が揃って、「学習・情報センター」が出来上がり、どんなことにも対応できる図書館が実現した。全国的にも、市川は進んでいると言えるだろう。

もうひとつ、優れているといえば、親のボランティアの活躍だ。ある学校の発表を見たときは、プロ顔負けだと思った。「市川子どもの本の会」をはじめ、たくさんの団体ができ、市川市内は本当に「読書いっぱい町」になった。子どもたちは、校外外ともに、たくさんの本にふれ合う環境ができた。しかし、今では、それが当然のようになり、少々、さびしい気もするようになった。

では、これからの図書館で何が大切になってくるか?それは、「心を育てる」こと、「あったかはあと」になる本だ。
(八幡小学校 学校図書館員 加藤秀子)

図書館の窓から

~ひろげよう!図書館の輪・リレー執筆~



妙典小学校には春と秋年2回読書週間があります。春は妙典ブックス(図書委員会)にニューフェースが多いので、比較的準備期間が短く手がかからず出来ることをやり、秋はその分少し手をかけたことを企画して行っています。今年は、11月10日から10日間の旬間で行います。一番の目玉企画は、「影絵」齋藤隆介作『花さき山』、担当になった10人の子どもたちで準備をしています。いかにスムーズに展開し場面転換が出来るかが勝負です。準備も大詰めです。

(妙典小学校 学校司書 平野晴美)



妙典小学校 学校図書館



路子の部屋 ~幼稚園の先生方、大集合!~

10月15日、塩焼幼稚園で、総勢80名近い幼稚園の先生方に、学校図書館ネットワーク事業や絵本についてお話する機会をいただきました。支援スタッフとして酒井さんと小林が参加しました。

市川市立幼稚園は8園。全園が学校図書館ネットワーク事業に参加しています。市川市が文部科学省学校図書館関係の地域指定を受けた時には、複数の幼稚園が実践研究園として参加しました。百合台幼稚園、塩焼幼稚園、新浜幼稚園などが、小学校や中学校、高等学校と協力して読書交流し、研究が終了した現在も、地域ブロックの活動として継続され定着しています。

小・中学生が幼稚園で読み聞かせをしたり、園児を学校に招いたりするのは、双方にとって大きな教育的効果があります。絵本を活用した交流は、互いにしっとりした関係をつくり、無理なく交流できるのです。他の幼稚園や保育園でもさまざまに交流を図っていますが、カギは小・中学校側の働きかけです。ぜひ、試みてみませんか。



第54回「学校読書調査」結果発表!

全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で毎年実施している「学校読書調査」の結果が発表されました。これによると、2008年5月の1ヶ月の平均読書冊数は、小学生は11.4冊、中学生は3.9冊、高校生は1.5冊になっています。昨年度に比べ、小・中学生は更なる増加が見られ、特に小学生は9.4冊から11.4冊へと大幅な伸びとなっています。

(詳細については、全国学校図書館協議会のホームページ等をご覧ください。)

市川市学校図書館支援センター(教育センター) TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352